

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		都市交流推進				所管	区民部 交流促進課					
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度						
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 昭和53年度			
		[小 柱]										[終了予定] - 年度
	根拠法令等	その他	[法令等名]	各姉妹・友好都市提携宣言、各姉妹・友好都市事務連絡会規約、姉妹都市の首長等に対する記念品贈呈要綱、台東区都市間交流事業助成金交付要綱								
	事業対象	姉妹・友好都市および一般区民										
	事業目的	国内の姉妹・友好都市等との窓口となり、連絡調整を図りながら、文化・スポーツ・産業など様々な交流を推進し、都市相互の発展や住民同士の友好親善を図るとともに、区民主体の交流を推進し、地域の活性化を図る。										
	事業内容	①各都市との相互訪問や式典招待などの連絡・調整等を行い、区としての窓口的役割を担っている。 ②スポーツや田舎体験などの各種交流、災害時相互応援協定による広域支援の確立、物産展の開催による産業交流などを実施している。また、都市間の交流事業を円滑に進めるために事務連絡会等も開催している。 ③民間交流を促進するため、事業助成の要綱を設置し支援している。										
	委託の有無	一部委託	委託内容	隅田川レガッタ慶祝幕設営撤去委託								
補助金の有無	なし											
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度					
	活動指標	各都市の区内イベント参加回数	(回)	20	19	16	14					
		各都市へのツアー等実施回数	(回)	5	4	4	3					
	成果指標	参加した区イベントの来場者数	(人)	450,000	449,141	496,725	514,527					
		各都市へのツアー等の参加人数	(人)	250	234	229	264					
	決算額	(単位：千円)			4,230	3,297	3,720					
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			15,301	14,162	7,669					
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			3,630	2,698	3,521					
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			600	600	200					
		総経費			19,531	17,460	11,390					
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0						
	その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0						
	一般財源（区負担額）			19,531	17,460	11,390						
前年度から改善した事項	庁舎1階ロビーや交流促進課窓口において、チラシや配布物の配架場所を増設するとともに、各都市ごとの見出しを作成し、特色がより区民に伝わるよう工夫した。											
評価の視点	評価	評価の理由										
	必要性	3	地域の活性化を図るため、交流を通じて各都市の特色を活かしたPRをしていくことが必要である。鳴子温泉郷宿泊プランや南会津町親子スキーツアーなど個人や家族単位で参加できる事業については区民からの反響も多く、継続的に実施する必要がある。									
	効率性	3	新規交流事業の検討・実施には事務量及び経費の増加が見込まれるが、当事業においては、事務改善や経費の見直しにより、全体的な効率化に努め、実施している。									
	手段の適切性	3	各姉妹・友好都市と良好な関係を築くことが、大崎市からの新米贈呈や南会津町からのスキーリフト券プレゼント等の、区民にとって有益な交流事業の実施につながっている。									
	目的達成度	4	各姉妹・友好都市の地場産品販売や区イベントへの参加を通じ、区民が各姉妹・友好都市をより身近に感じられる機会となった。各都市へのツアーも区民に定着しつつあり、参加者も増加傾向にある。									
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）						評価結果	今後の方向性					
姉妹・友好都市との交流については、既存の事業を継続しつつ、新たな事業や提携周年事業など、交流発展について各都市と協議している。今後も各都市の特色を生かしつつ、かつ区民にとって有益な交流事業の実施を支援していく。							維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了				